

花屋
を身近に

香彩。新聞



発行：(有)kyo-sai.代表 川邊 泰史 札幌市東区北12条東11丁目2-14

電話：FAX011-731-8783 ホームページhttp://kyo-sai.co.jp

みんなで期待！



平成最後の半年のスタートですね！平成6年にお花屋さんの世界に入った僕、この時代のほとんどをお花と共に過ごしてきました。辛い事もいっぱいの中、お花で感動してもらった事など花屋でしか経験できなかったであろう出来事も沢山ありました。結婚や子供の成長、家族との別れ、振り返ると凄く自分自身勉強になった時代になりました。年末に母が入院し、その姿を見て寂しい思いをさせた

いじちゃん！綺麗なモノを見て、汚く見えるモノもその先にあるモノに気づいて磨いていきたい。

くないなーと思いましたが、親子は特別な存在で良いも悪いもずっと続く絆です。いくつになっても心配をかける悪い息子ですが、母さんに親孝行できるような息子になれるように心に余裕を持てるように過ごして生きたいと思いました。時代は忙しく、ハイテクでちょっとした猶予もない事があちこちでおきるけど、別にいいじゃん！綺麗なモノを見て、汚く見えるモノもその先にあるモノに気づいて磨いていきたい。



大きな変化の一年になるのかな？
時代に合わせる？・創る？



昨年北大前の支店を閉鎖！15年の閉店を体験した。今年も回収作業で忙しいですが、辛い経験が多かった日々、お店をなんとか盛り上げようとした日々は今後の自分にとって花屋にとって大切な財産になったと信じています。色んな経験をしているから解る事、失敗が生む成功もあると思うのでこれから頑張ります！！

何度でも挑戦だ！

お花の価値を上げる工夫！

プレゼントでもらったお花、自分で購入した切花。目の前の綺麗なお花は必ず寿命がきます。外国の方は言います、日本人はお花の価値観が不思議？なぜなら誕生日や記念日に満開の綺麗なお花を見せたいのではなく、どれだけ長持ちするかを気にしているからでしょうか。なぜ考え方が違うかと言うと外国の方は日常的にお花を飾り、日本人は特別な時だけかから、なるべく長く飾っておきたい気持ちが出ているのでしょね！お花は生き物です。僕らと同じでお水を必要として口を開けてますが、毎日切花は茎を切ってあげないとお水を吸う力が弱くなってしまいます。綺麗に咲かせるには人の優しさが必要で、それをする事がお花の価値もあげることになりますよ！置き場所や管理方法などもお気軽にお聞きくださいね

春娘

な中のす父も一しもけ人しし
のそつ愛。なあ戻をいるいごに
も生宝く可すん。き成なるいごに
に人はいもでそね。巻平らもいた
な僕達でてるっすを！一回やもい
外僕娘のるる親んで間たい辛どや
以いでもなぎ親ん時たい辛どや
と人え、し花描はに、がのは僕れも
り二終ま頃を女に、がのは僕れも
わはをりい絵長先生い設す。ちい
終達生なさてた先障で労娘忙く支
の娘学に小前園はの就いもしのま
平成にも職。のて稚園はの就いもしのま
平共と就た。屋い幼女あるでしつ優
共と就た。屋い幼女あるでしつ優